



平成 25 年 1 月 31 日

各 位

会社名 株式会社 北洋銀行
 (コード番号 8524 東証第 1 部・札証)

平成 25 年 3 月期第 3 四半期の業績 (速報値) について

札幌北洋グループの平成 25 年 3 月期第 3 四半期業績の概要について、現時点における見通し (速報値) を下記の通りお知らせいたします。なお、平成 24 年 10 月 1 日付で北洋銀行と札幌北洋ホールディングスは北洋銀行を存続会社として合併いたしました。従いまして、平成 24 年 3 月期第 3 四半期累計期間 (連結) については札幌北洋ホールディングス連結の実績値を記載しております。また平成 25 年 3 月期第 3 四半期累計期間 (連結) については北洋銀行連結の速報値を記載し、参考値として札幌北洋ホールディングス連結の前年同期との比較数値を記載しております。

記

1. 平成 25 年 3 月期第 3 四半期の業績概要 (速報値)

- ・札幌北洋グループ連結の「経常利益」は 220 億円、「四半期純利益」は 181 億円となる見通し。
- ・北洋銀行単体の「資金量未残」は 6 兆 9,421 億円 (前年比 992 億円増加) の見通し。
- ・北洋銀行単体の「貸出金未残」は 5 兆 4,922 億円 (前年比 2,635 億円増加) の見通し。
- ・北洋銀行単体の「金融再生法開示債権」は 1,666 億円 (前年比 125 億円減少) の見通し。
 「開示債権比率 (部分直接償却後)」は 2.24% (前年比 0.37 ポイント改善) の見通し。
- ・北洋銀行単体の「その他有価証券評価損益」は 665 億円 (3 月末比 57 億円増加) の見通し。
- ・北洋銀行単体の「自己資本比率」は 11.7% 程度 (3 月末比 0.8 ポイント程度上昇) の見通し。

(単位: 億円)

	平成 24 年 3 月期 第 3 四半期累計期間 (実績*)	平成 25 年 3 月期 第 3 四半期累計期間 (速報値)	前年比 (参考値)
経常利益 (連結)	264	220	△44
四半期純利益 (連結)	107	181	74

*平成 24 年 3 月期第 3 四半期累計期間は札幌北洋ホールディングスの実績

(単位: 億円、%)

	平成 23 年 12 月末 (実績)	平成 24 年 12 月末 (速報値)	前年比
資金量未残 (単体)	68,429	69,421	992
貸出金未残 (単体)	52,287	54,922	2,635
金融再生法開示債権 (単体) (開示債権比率)	1,791 (2.61)	1,666 (2.24)	△125 (△0.37)

資金量 = 預金 + 譲渡性預金

金融再生法開示債権額は部分直接償却前の金額、開示債権比率は部分直接償却後の比率

(単位: 億円、%)

	平成 24 年 3 月末 (実績)	平成 24 年 12 月末 (速報値)	3 月末比
その他有価証券評価損益 (単体)	608	665	57
自己資本比率 (単体)	10.9%	11.7%程度	+0.8%程度

2. 損益の概要【札幌北洋グループ連結】

- ・平成 25 年 3 月期第 3 四半期の連結コア粗利益は 832 億円と前年比 24 億円の減少となる見込み。利回り低下に伴う預貸金収支の減少から資金利益が前年比 18 億円減少したことに加え、団体信用生命保険料等の役務費用増加によって役務取引等利益が前年比 5 億円減少したこと等によるもの。
- ・連結コア業務純益は 264 億円の見込み。経費圧縮により前年比は 12 億円の減少に抑える。
- ・経常利益は 220 億円と前年比 44 億円の減少となる見込み。一般貸倒引当金の戻入益が減少したことを主因とするもの。
- ・四半期純利益は 181 億円と前年比 74 億円の増加となる見込み。前年の法人税制改正による影響が減少したため、法人税等調整額が前年比 104 億円減少したことを主因とするもの。

【札幌北洋グループ連結（第 3 四半期累計期間）】

* 平成 24 年 3 月期第 3 四半期は札幌北洋ホールディングスの実績 (単位：億円)

	平成 24 年 3 月期 第 3 四半期 (実績*)	平成 25 年 3 月期 第 3 四半期 (速報値)	前年比(参考値)
経常収益	1,239	1,223	△16
連結コア粗利益	856	832	△24
資金利益	691	673	△18
役務取引等利益	141	136	△5
その他業務利益	23	22	△1
経費(除く臨時処理分)	579	568	△11
連結コア業務純益	276	264	△12
信用コスト	△5	40	45
有価証券等関係損益	△25	△7	18
経常利益	264	220	△44
四半期純利益(連結)	107	181	74

連結コア粗利益 = 資金利益 + 役務取引等利益 + その他業務利益 - 国債等債券関係損益

信用コスト = 貸倒償却引当費用 = 一般貸倒引当金繰入額 + 貸倒損失額 - 償却債権取立益

有価証券等関係損益 = 国債等債券関係損益 + 株式等関係損益 + 金銭の信託運用損益

連結コア業務純益 = 連結コア粗利益 - 経費(除く臨時処理分)

【ご参考：北洋銀行単体（第 3 四半期累計期間）】

(単位：億円)

	平成 24 年 3 月期 第 3 四半期 (実績)	平成 25 年 3 月期 第 3 四半期 (速報値)	前年比
経常収益	1,024	998	△26
コア業務粗利益	802	787	△15
資金利益	689	672	△17
役務取引等利益	106	106	0
その他業務利益	6	7	1
経費(除く臨時処理分)	569	556	△13
コア業務純益	233	230	△3
信用コスト	△29	21	50
有価証券等関係損益	△22	△6	16
経常利益	248	208	△40
四半期純利益	118	174	56

3. 主要勘定残高【単体】

- ・資金量未残は個人預金、法人預金の増加により、6兆9,421億円と前年比992億円の増加となる見通し。
- ・預かり資産未残は8,107億円と前年比369億円の増加となる見通し。
- ・貸出金未残は全ての主体向け貸出が増加し5兆4,922億円と前年比2,635億円の増加となる見通し。
- ・有価証券は1兆5,659億円と前年比215億円の減少となる見通し。

(単位：億円、%)

	平成23年12月末	平成24年12月末		
	(実績)	(速報値)	前年比	年率
資金量	68,429	69,421	992	1.4%
預かり資産	7,738	8,107	369	4.7%
貸出金	52,287	54,922	2,635	5.0%
有価証券	15,874	15,659	215	1.3%

資金量 = 預金 + 譲渡性預金

預かり資産 = 公共債保護預かり + 投資信託 + 個人年金保険等 (販売累計額)

4. 金融再生法開示債権【単体】

- ・金融再生法開示債権は、最終処理の進展等に伴う破産更生等債権の減少により1,666億円と前年比125億円減少の見通し。
- ・開示債権比率(部分直接償却後)は、2.24%と前年比0.37ポイント改善の見通し。

(単位：億円、%)

	平成23年12月末	平成24年12月末	前年比
	(実績)	(速報値)	
破産更生等債権	628	605	△23
危険債権	835	797	△38
要管理債権	328	262	△66
金融再生法開示債権	1,791	1,666	△125
(開示債権比率)	(3.35)	(2.96)	(△0.39)
部分直接償却後	1,386	1,254	△132
(開示債権比率)	(2.61)	(2.24)	(△0.37)

当グループでは部分直接償却未実施ですが、参考として部分直接償却を実施した場合の計数を記載しております。

開示債権比率 = 金融再生法開示債権 ÷ 総与信 × 100

5. その他有価証券の評価損益【単体】

- ・その他有価証券の評価損益は665億円と平成24年3月末対比で57億円増加の見通し。

(単位：億円)

	平成24年3月末	平成24年12月末	3月末比
	(実績)	(速報値)	
その他有価証券	608	665	57
株式	189	220	31
債券	273	234	39
その他	146	210	64

<ご参考>

	平成24年3月末	平成24年12月末	3月末比
日経平均株価（円）	10,083	10,395	312
新発10年国債利回り（%）	0.985	0.795	0.190

6. 自己資本比率【単体】(概算値)

- ・自己資本比率(概算値)は、11.7%程度と、平成24年3月末対比で0.8ポイント程度上昇の見通し。

	平成24年3月末	平成24年12月末	3月末比
	(実績)	(概算値)	
自己資本比率	10.9%	11.7%程度	+0.8%程度
Tier 比率	7.5%	8.7%程度	+1.2%程度

7. 平成25年3月期の通期の業績予想について

当第3四半期の連結四半期純利益の見通しは181億円と、通期の業績予想比100.5%の進捗となる見通しですが、経済情勢等が引き続き予断を許さない状況にあることを踏まえ、平成25年3月期の通期の業績予想につきましては、現時点での変更はいたしません。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

北洋銀行 経営企画部 津山・谷 TEL 011-261-1315

業績速報につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想等であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

実際の業績は、様々な原因によりこれらの業績速報値とは異なる可能性があります。